

## がん予防のススメ Vol.79

### 悪性黒色腫

「ホクロやしみと思いい込んでいませんか」



徳島大学大学院  
医歯薬学研究所 形成外科学 准教授

あべ よしろう  
安倍 吉郎氏

悪性黒色腫は代

表的な皮膚がんであり、多くは色調の濃淡や形が不整といった見た目の特徴から診断できます。しかし、最初は小さな黒色斑に見えることから、単なるホクロやしみと思いいんではいる方もいます。日本人にできやすいのは四肢末端や足の裏ですが、目や鼻の奥、あるいは外陰部にできたものは気付かれにくく、受診した時にはすでに進行していることもあります。

治療の原則は手術的ながんを切除することであり、特に顔や手足では機能と外見の両方を考えて再建します。この病気を予防することは難しいですが、もし進行していても、最近では免疫に働きかける薬剤（免疫チェックポイント阻害薬）や、がんの増殖を選択的に阻害する薬剤（分子標的薬）が登場していますので、諦めずに専門家に相談することを勧めします。



徳島大学病院 がん相談支援センター

がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター

<https://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター

<https://www.toku-gantaisaku.jp>